



特別講師のイアンさんによる第2回。
自分の考え方の傾向に気づくところから
始まりました！

アイデアってどうやって出すの？

第2回の「Teensムサカツ」（以下、ムサカツ）のテーマは、「デザイン思考を学ぼう」。今年度「こんな場があったらいいの」をグループごとに考えていくために、アイデアってどうやって出すの？ということをもみんなで学びました。

担当してくれたのは特別講師の「イアン」さん。前半のワークは、特性診断で自分の考え方の傾向を知ることから始まりました。

「人を助ける人」…「忠実な人」…「改革する人」…それをもとに、自分の分身となる動物キャラクターを描いていきました！まだ2回目なので、参加者もお互いのことがよく分からない中で、あっ一緒のタイプなんだ、グループ内でこんなに分かれるんだ、など、お互いへの気づきがあったようです。

後半のワークでは、自分がその動物の視点になってみて、どうやったらこの世界がもっと豊かになるのか、人間たちに言いたいことはどんなことか、考えていきました。「動物視点になる」というのは、普段考えもしない新鮮な体験で、むずかしさもあったと思いますが、「答え」のない中で、参加者それぞれにお題と格闘している姿が印象的でした。

次回から、中高生世代にとっての「こんな場があったらいいな」を考えていきますが、まずは自分たち視点で、その先に自分たち以外の視点で、アイデアを深めていけたらいいなと思っています！

詳細レポートは、[こちら](#)からお読みください。

